



2010年6月15日

各位

Medicinova, Inc.
代表取締役社長兼 CEO
岩城 裕一
コード番号： 4875 大証ヘラクレス
問合わせ先： 東京事務所代表 副社長
岡島 正恒
電話番号： 03-3519-5010
E-mail： info@medicinova.com

新執行役就任に関するお知らせ

2010年6月14日 米国 サンディエゴ発 - メディシノバ (MediciNova, Inc.) (米国カリフォルニア州 サンディエゴ、代表取締役社長兼 CEO：岩城裕一) は、下記のとおり執行役を任命しましたのでお知らせいたします。

記

1. 氏名及び役職名

氏名 マイケル・コフィー (Michael Coffee)

役職 チーフ・ビジネス・オフィサー (Chief Business Officer)

2. 就任日

2010年6月14日

なお、コフィー氏の略歴は以下のとおりです。

【略歴】

- シエナ・カレッジ (Siena College) にて生物学の理学士を取得。
- アモス・タック・スクール・オブ・ビジネス (Amos Tuck School of Business) にて、上級経営学の学位を取得。
- 1991年-1998年まで、アテナ・ニューロサイエンス・インク (Athena Neurosciences, Inc.) において、マーケティング及び経営幹部のポジションを歴任。社長兼 COO (最高執行責任者) に就任。
- 1998年- 2001年まで、エラン・ファーマスーティカルス・ノース・アメリカ (Elan Pharmaceuticals, North America) において、社長兼 COO を務める。
- 2001-2004年まで、アマリン・コーポレーション PLC (Amarin Corporation PLC) の米国

- 内の医薬開発及びマーケティング関連の子会社である、アマリン・ファーマスーティカルス・インク (Amarin Pharmaceuticals, Inc.) において、社長兼 COO を務める。
- その後、新興製薬企業に広範な医薬開発コンサルティングサービスを提供するコンサルティング企業、アレクタ・グループ LLC (Alekt Group, LLC) の共同設立者となる。
 - 2005年2月-2009年5月まで、アヴィジェン・インク (Avigen, Inc.) (2009年12月にメディシノバが買収・合併)においてチーフ・ビジネス・オフィサーを務める。
 - 2009年5月-2010年2月 アダムス・ファーマスーティカルス・インク (Adamas Pharmaceuticals, Inc.) において販売・マーケティング担当上席副社長を務める。
 - 2010年3月～ メディシノバにおいてコンサルタントを務める。

以上

メディシノバについて

メディシノバ (Medicinova, Inc.) は、日本内外の国際的製薬企業との提携により有望な低分子化合物を導入し、様々な疾患領域の新規医薬品の開発を主として米国で行う公開製薬企業です。弊社のパイプラインには、喘息急性発作、COPD (慢性閉塞性肺疾患) の増悪、多発性硬化症を初めとする神経疾患、喘息、間質性膀胱炎、固形癌、全般性不安障害、切迫早産、尿失禁など、多様な疾患の治療を目的とする6つの臨床段階の化合物と、血栓症治療を目的とする2つの前臨床段階の化合物が揃っております。メディシノバは、当面その戦略として、喘息急性発作及び COPD の治療薬 MN-221 と多発性硬化症などの神経疾患治療薬 MN-166 との2つの優先的開発化合物に資源を集中して開発を進めていく予定です。MN-221 については、米国内で独自に開発を行い、一方 MN-166 については、開発に際して、戦略的な提携関係を構築することを考えております。また、他の製品候補につきましても、現金化を試みて参ります。弊社詳細につきましては <http://www.medicinova.jp> をご覧下さい。メディシノバの所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴ市ラ・ホイヤ・ヴィレッジ・ドライブ 4350、スイート 950 (電話 1-858-373-1500) です。

このプレスリリースには、1995年米国民事証券訴訟改革法 (The Private Securities Litigation Reform Act of 1995) に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、製品候補の治療法としての新規性および効能を実証する臨床試験に関する記述、既存または将来の臨床試験の計画や目的および製品開発に関する計画または目的に関する記述などが含まれます。このような記述には、臨床試験の結果、現段階の臨床試験の結果が必ずしもその後の製品開発の行方を確定するものではないこと、将来の臨床試験のタイミング、費用、計画など、臨床試験、製品開発および商品化に付随するリスクや不確定要素、FDA に対して書類を提出するタイミング、当社の戦略の失敗、第三者との提携構築、アヴィジェンとの合併により、イブジラストに関する開発プログラムを統合することにより期待される戦略的、財務的メリットを実現する可能性、イブジラストに関する開発プログラムを進めるための戦略的提携交渉、または、資金調達の可能性、知的財産権や契約上の権利を初めとして、当社が米国証券取引委員会に提出した届出書に記載されているものも含めたその他のリスクや不確定要素など、その多くは当社のコントロールが及ばないいくつかの前提、リスク、不確定要素の影響を受けるものであります。したがって、「将来の見通しに関する記述」はその時点における当社の状況を述べているにとどまり、実際の結果または成り行きは、必ずしも予想通りにはならない可能性があることにご留意下さい。また当社には、この記述に関して、情報の修正または更新を行う義務はありません。